

第4章 整備・活動方針

1. まちの顔づくりの推進

●推進のねらい

まちの中心軸として公共的施設や機能を集積させたコンパクトな市街地を形成し、南幌町の歴史と特性を反映させながら、豊かな自然環境と調和し利便性と快適性の高いまちの顔づくりを推進することが魅力あるまちづくりのためには重要です。中央通りや公和通りを交通の核として、南幌町の発祥の地である幌向運河と国の登録有形文化財に指定されている旧幌向駅通所に至る地域を含め、賑わいのある利便性の高いまちの中心軸として再活性化について検討を図ります。

①公共公益的施設の集積

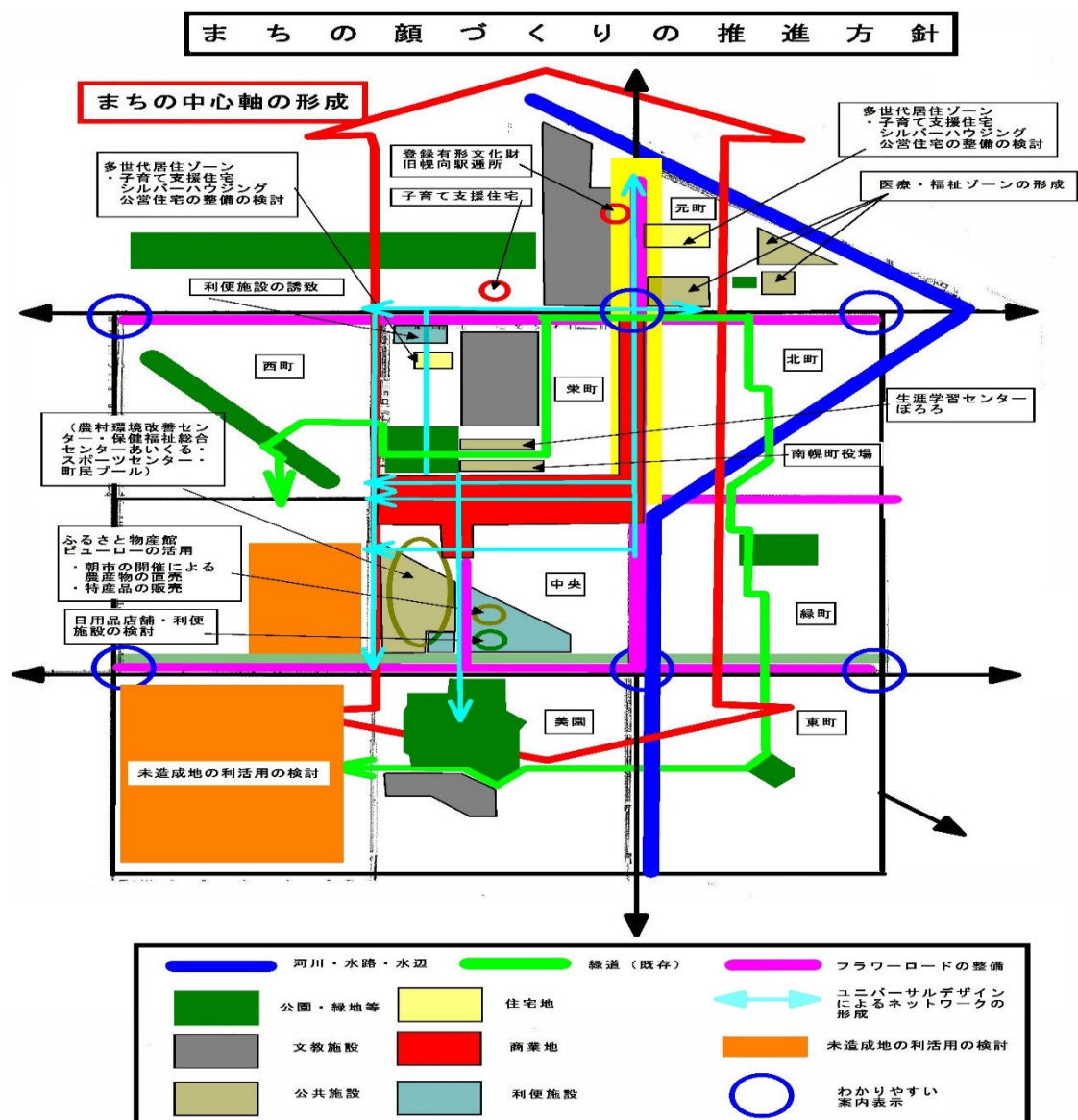
生活の質を高める、文化交流施設（生涯学習センター「ぼろろ」、農村環境改善センターなど）、体育施設（スポーツセンター、町民プールなど）、居住施設（シルバーハウジング、町公営住宅等の建設の検討、民間事業者との連携による賃貸住宅など）、福祉施設（保健福祉総合センター）などの公共公益的施設の活用にあつめます。

②ユニバーサルデザインによるネットワークの形成

まちの中心となる各施設を結ぶ、歩行者の安全性や快適性を考慮した歩行者ネットワークの管理を適正に進めます。

③親しまれる沿道商店街づくり

商工会、農協等と連携した各種イベントの実施などによる、地域住民が集い、賑わい・交流の場となる親しまれる沿道商店街づくりを支援します。



2. 水と緑のネットワーク形成の推進

●推進のねらい

南幌の更なる魅力を高め豊かな自然との調和をはかるため、南幌町の景観の特色である田園風景と防風林及び南幌を取り囲む河川と河畔林など水と緑を生かしたネットワークの形成を推進することが重要です。防風林と街路樹を中心とする骨格的な緑地帯の保全と水辺を生かした散策路及び町民・事業者の協力による緑の保全・整備を図ります。

①緑豊かな田園都市づくり

防風林の保全と街路樹の保全・整備を中心に、緑豊かな田園都市づくりの拠点形成を推進し、また、南幌の自然と歴史を物語る高齢木の保存活動を行う民間団体を支援します。

②水と緑を生かした散策路づくり

南幌市街地と南幌温泉を結ぶ歩行者軸として、幌向運河の水辺を生かした散策路の管理に努めます。また、緑の環境の整備における推進を目的として、幹線道路の沿道緑化の整備について検討します。

③町民みんなで支える豊かな緑空間の形成

南幌の自然環境の特性（風の強さ、泥炭地、地下水位の高さなど）にあわせた植栽とその管理方法などについて学びながら、町民とともに豊かな緑空間の形成を図ります。

水と緑のネットワーク形成の推進方針図

